

令和 7 年度 蓮田ブランド推進協議会第 3 回会議録

開 催 日 時	令和 8 年 2 月 2 6 日（木）午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 3 0 分	
開 会 場 所	蓮田市役所 2 0 2 会議室	
委員出席状況	会 長 嶋田 清司 副会長 小林 謙二 委 員 小林 央承 （欠席） 委 員 田口 桐子 委 員 加藤 達雄 委 員 岡田 幸典 委 員 西村恵美子 委 員 時光 一郎 委 員 今野 雅崇 委 員 初野 尚久	（蓮田市） 倉田正彦 産業振興課主幹（司会） 星野抄織 産業振興課主事

会議内容

1 開 会 倉田産業振興課主幹司会進行（午後 1 時 3 0 分から）

2 会長あいさつ

3 議 題

「ブランド推進協議会における SNS の活用について」「委員の皆様からの自由意見」「その他」について

産業振興課主事より、SNS の運用等について説明。

産業振興課：まず SNS アカウントを作れるのかについて。市でもいくつかの課が独自でアカウントを持っているのでブランド推進協議会として個別に作成することは可能と思われる。ただし、既存の観光協会のアカウントとの投稿内容の類似など、懸念する点は多くある。

次に SNS アカウントを作成した場合の運用方法について。市の公式 SNS の運用については別紙参照。参考までに文化スポーツ課に運用方法やルールを尋ねてみたところ、特に定めていないとのことだった。

●●委員：「とかいなか No. 1」を前面に押し出すには SNS が一番活用できるツールではないかという話を前回した。協議会として何か目に見えるものを作れたらよいが難しい。

●●委員：R6 にいろんな市内の場所をめぐり、蓮田市のいろいろなことを知った。やはり発信していくことは大事だと思う。SNS の発信は無難な方向に進んでいくと発信力が弱くなる。観光協会に乗っかることができるのだろうか。農商工連携推進協議会代表としてこの会議に参加しているが、農商工の SNS で発信する内容としては、さくらまつりでの洋風呉汁の PR 等である。子供たちへの「とかいなか No. 1」の浸透率が高い。さくらまつりで販売する洋風呉汁等のパッケージに「とかいなか No. 1」のフレーズを使うなどしてアピールしていきたい。

-
- 委員 : 2016 年ごろから参加。今回は漠然としながら進んでいて、スピード感が鈍化した。前回会議で SNS という次のヒントになるものを残せたと思う。観光協会の研修で佐野と深谷へ行ったが、ふっかちゃんとはすぴいは規模感が違うと感じた。はすぴい関連の予算をとって展開していけたらいいと思う。江ヶ崎城跡を初めて知った。こういったマイナーな名所を SNS を使って PR できたらいいと思う。
- 委員 : 今年から参加。蓮田について勉強して学びの場となった。洋風呉汁や江ヶ崎城を PR していけばいいと思う。SNS は利用者目線でやっていったり、発表する場のないものを SNS を利用して発信していけばいいと思う。
- 委員 : 2 年間在籍。いろいろな業種の方と会議するのは中々ない経験。この会議自体が蓮田の PR のいい機会だと思う。SNS の利用については皆さんのまとまったご意見ということになったが、自身が SNS に疎かったので、この会議で SNS の現状を初めて知った。SNS を今後どのような形でやっていくか、難しいところであり悩ましい。観光協会ですべてやらせても調整が難しい。次の会議に何を引き継げるだろうか。新しい委員さんにまた新たなアイデアを出してもらう感じになるか。せっかくできた縁なので、皆さんにも継続してほしい。
- 委員 : SNS の活用が大事である。SNS は全国的に発信できるが、ターゲットの明確化が重要となってくる。目標をどこに置くのか明確にする必要がある。
- 委員 : SNS は本来はターゲットや目標を設定すべきだが、この協議会は「とりあえずやってみる」なのではないか。月 1 で「とかいなか No. 1」関連の投稿をすると決めたり、小さいゴールを積み重ねるのがこの協議会にあると思う。おそらく難しいことは無理。(行政としてどうかという点で) 市役所の中で「とかいなか No. 1」をどう推していくのかのビジョンがないのが現状の原因ではないか。シティセールスの中で「とかいなか No. 1」の浸透を図る等があるべき姿。行政の後ろ盾がない中でやるのは厳しいので、行政としての後ろ盾が必要。行政の施策としてバックアップを。
- 委員 : この協議会が市の魅力を知るきっかけになった。SNS は無料でできるので、予算的には無難だと思う。若い世代は広報紙を見ないので、SNS は若者に有効。
- 委員 : 「とかいなか No. 1」を観光協会に投稿することはできると思う。観光協会に広めていければと思う。山口市長が前回の会議で「とかいなか」を目指すといっている。人が住みよい蓮田を目指していく方向で次回以降の協議会も進めていければと思う。
- 委員 : ●●委員の意見がすべて。蓮田という街を知っていただく必要があると思う。明確なゴールがなく申し訳ない。新年度もこの協議会は発足すると思うので、SNS は継続して議題として取り扱っていく。「とかいなか No. 1」を各課でどのように使用しているのか、せっかく市長も答弁で使用しているので、次の期が発足するまでの間にできる限り事務局に調べてほしい。目標がないので意見が出にくい。ある程度指針があればいいので、次の担当者によく伝えてほしい。

(3) その他について

嶋田会長より、はすぴいの着ぐるみ用の「とかいなか No. 1」たすき及び「とかいなか No. 1」のたすきをかけたはすぴいのイラスト作成について提案。事務局が広報広聴課に掛け合い

作成する方向で決まった。

7 閉 会 小林副会長の閉会挨拶により閉会（午後 2 時 30 分）